

報道関係者 各位

### 新型インフルエンザに感染した患者の死亡について

11月1日、京都府京都市より、新型インフルエンザに感染した患者の死亡について、別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

(お知らせ)

平成21年11月1日

京都市新型インフルエンザ対策本部

担当 保健福祉局保健衛生推進室保健医療課 222-4421  
消防局防災危機管理室 212-6787

### 新型インフルエンザに感染した患者の死亡について

平成21年11月1日(日)京都市内において、新型インフルエンザに感染した患者の死亡が確認されましたのでお知らせします。お亡くなりになられた方のご冥福を心よりお祈りいたします。

なお、報道に際しては、お亡くなりになられた方及びご家族のプライバシーに十分配慮していただくとともに、医療機関への直接のお問い合わせは控えていただくようお願いします。

#### 1 患者概要

右京区在住30代女性、基礎疾患については調査中

#### 2 経過

10月30日(金) 昼	発熱(37.4℃)、倦怠感で近くの診療所受診
夜	発熱(38~39℃)
10月31日(土) 夕方	発熱が続くため市内病院受診
	発熱(40.4℃)、インフルエンザ迅速検査キットでA型陽性 治療薬(タミフル)処方後帰宅
夜	歩行困難となり、上記病院に救急搬送 ろれつがまわらない症状、不穏(落ち着かない)状態を認める。 呼吸状態が悪く、その後呼吸停止 気管挿管し、京都市立病院に救急搬送
同日 夜	気管挿管による呼吸管理継続、迅速検査キットでA型陽性 呼吸不安定、不穏状態継続 CT検査により脳浮腫を確認
11月1日(日) 未明	状態悪化
午前6時22分	死亡確認 市立病院から市内保健所に届出
午後2時15分	衛生公害研究所PCR検査により新型インフルエンザの感染確認

#### 3 死亡の原因

病理解剖の結果により判明します。

## 市民のみなさまへ

- ・京都市内において、新型インフルエンザに感染した30歳代の女性の死亡が確認されました。
- ・死亡の原因は、病理解剖により確認中ですが、採取した検体から新型インフルエンザに感染していたことが判明しました。
- ・お亡くなりになられた方の御冥福を心よりお祈り致します。
- ・新型インフルエンザの症状は、通常の季節性インフルエンザと同程度であり、ほとんどの感染者が軽症のまま治癒しています。喘息や心疾患、腎疾患、糖尿病などの基礎疾患のある方や乳幼児、妊婦、また、まれではありますが基礎疾患のない方についても、新型インフルエンザに感染した場合、重症化することもあり、注意が必要です。
- ・京都市では、5月16日に、国内で最初の感染患者が確認されて以降、これまで市内の流行拡大に備え準備を進めるとともに、全国的にインフルエンザの感染者が増え続けている状況を踏まえ、新型インフルエンザ相談窓口の相談態勢を強化するとともに感染拡大の防止について様々な対策を講じてきましたが、今後も、状況の変化に注視しつつ、引き続き、医療機関と連携しながら新型インフルエンザ対策に全力を挙げて取り組んでまいります。
- ・市民の皆様お一人おひとりの「うつらない」、「うつさない」取組（別紙1）が重要ですので、手洗いの励行や人ごみをできるだけ避け、インフルエンザの症状がある場合には、医療機関にあらかじめ電話連絡をして受診してください。特に基礎疾患をお持ちの方については、日頃からかかりつけの医師と相談しておいていただきますようお願いいたします。また、基礎疾患のない方についても、重症化のサイン（別紙2）が見られるときは、早期に医療機関を受診していただきますようお願いいたします。

平成21年11月1日

京都市長 門川 大作

#### 4 本市の対応

PCR検査判明後、直ちに京都市新型インフルエンザ対策本部幹事会を開催し、庁内における情報の共有とさらなる注意喚起を図るとともに、市長の指示のもと「市長メッセージ」(別添)により市民への呼びかけを行うこととした。